

**第 67 回**

# **飯田市社会福祉大会**

**令和5年度**

## **地域福祉活動推進研修会**

主催 社会福祉法人飯田市社会福祉協議会  
後援 飯田市

## 飯田市市民憲章(昭和 52 年制定)

わたくしたちの飯田市は、美しい自然に恵まれ、長い歴史と尊い伝統文化にまつまれた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、このまちの市民としての誇りをもち、明るく健康で豊かな市民生活を築くために、全市民のねがいをこめてこの憲章をかかげ、たがいにはげましあい、手をとりあって進みます。

わたくしたちは

1. 自然を大切にし、美しい環境の飯田市をつくります。
2. 心身をきたえ、健康で明るい飯田市をつくります。
3. 伝統を生かし、文化の香り高い飯田市をつくります。
4. 善意を広め、思いやりの心で幸せな飯田市をつくります。
5. 楽しく働き、豊かな産業の飯田市をつくります。

## 社会福祉法人飯田市社会福祉協議会 基本理念

わたくしたちは

地域と命の尊さを守るため

「新たな福祉の創造による改革」を行い

地域社会に貢献します

### 大会趣旨

地域社会が抱える福祉課題・生活課題は、社会情勢や地域社会の構造変化によって複雑多様化し、既存の社会保障や福祉制度だけでは対応が難しくなっています。そのため、多様な職種・分野の関係者が連携するとともに、住民の一人一人が主体となって「地域共生」社会の実現に向けて課題に取り組む重要性が高まっています。

本大会はこれを踏まえ、これまで地域の中で多くの役割を果たしてこられた皆様の功績を称え、今後の地域福祉がますます発展するきっかけとなることを目指して開催いたします。

## 日程

13:00 式典

- (1) あいさつ
- (2) 表彰
- (3) 受賞者代表謝辞
- (4) 来賓祝辞

13:45 発表・シンポジウム

コーディネーター：沖 弘宣氏

シンポジスト：座光寺地区—健康福祉委員会

松尾地区—健康福祉部

南信濃地区—遠山郷やらまい会

(福祉活動応援事業助成金活用団体)

## 大会役員

名誉大会長	飯 田 市 長	佐 藤 健
大会長	飯田市社会福祉協議会会長	原 重 一
副大会長	飯田市社会福祉協議会副会長	原 久
副大会長	飯田市社会福祉協議会副会長	何 原 真 弓

# 被表彰者名簿

(五十音順・敬称略)

## 1 特別功勞表彰

### (1) 名譽大会長表彰 13 名

大島	美惠子	(山本)	木下	晶子	(竜丘)
熊澤	正夫	(伊賀良)	杉山	伸幸	(鼎)
鈴木	好雄	(鼎)	多田	雅幸	(鼎)
田中	知秀	(上郷)	古瀬	幸与	(上村)
古田	浩子	(伊賀良)	牧内	享子	(川路)
宮澤	豊司	(伊賀良)	山崎	一代	(南信濃)
匿名					1名

### (2) 大会長表彰 25 名

飯島	一夫	(松尾)	市川	勝利	(上郷)
大澤	重久	(南信濃)	木下	智保子	(丸山)
胡桃澤	一郎	(上郷)	後藤	眞知子	(松尾)
佐藤	たか好	(橋南)	塩澤	美智子	(竜丘)
高間	波子	(山本)	田畑	久雄	(鼎)
土屋	秀富	(伊賀良)	中村	京子	(鼎)
勝嶋	照子	(丸山)	秦	嘉雄	(橋北)
林	宗吉	(龍江)	林	隆美	(橋南)
平栗	豊久	(松尾)	平沢	節子	(下久堅)
平澤	秀勇	(橋北)	政木	のり子	(三穂)
矢嶋	志保	(座光寺)	山本	美智子	(鼎)
湯澤	順子	(座光寺)	渡辺	吉博	(鼎)
匿名					1名

## 2感謝状表彰 6名

太田　　いく子　（千代）田中　　美智子　（橋北）  
寺沢　　富貴子　（座光寺）寺沢　　幸夫　（座光寺）  
松　島　　　　達　（　　鼎　）宮井　　秀明　（下久堅）

## ご寄付をいただいた皆様のご紹介

（五十音順・敬称略）

飯田花卉組合  
飯田市ボランティアセンター  
伊賀良ボランティアグループ  
大場　君江  
株式会社おさひめコーポレーション　カーブス事業部  
絵画チャリティ販売の会  
国際ソロプチミスト飯田  
金光教　飯田教会　信徒会  
JA　みなみ信州女性部　上郷支部  
シチズン時計マニュファクチャリング(株)　飯田殿岡工場  
「小さな親切」運動　飯田支部  
チャリティーみんなののど自慢  
つむぎの会  
株式会社　中村  
秦野　善彦  
細田　秀一郎  
三菱電機株式会社　中津川製作所　飯田工場  
矢澤　キク  
ユニー(株)小さな善意で愛の輪運動　アピタ飯田店  
匿名4名

## 発表・シンポジウム

---

---

沖 弘宣 氏

元飯綱町社会福祉協議会事務局長 龍洞山松雲寺住職

---

---

### 講師プロフィール

曹洞宗大本山永平寺で修行後、龍洞山松雲寺で修行。

1989年三水村社会福祉協議会に入職し、福祉活動専門員として活躍。

2004年同社協事務局次長、2006年社協の合併に伴い飯綱町社会福祉協議会事務局次長、  
2012年事務局長。2019年同社協を退職し、現在、龍洞山松雲寺住職。社会福祉士。

# 共に暮らす地域（まち） づくりについて

社会福祉士 沖 弘宣

## 1. あなたが考える暮らし続けたい地域とは

インフラが整っている  
（行政サービス・交通・医療・商業・金融など）

&

地域に愛着があるか  
地域にほこりがもてる  
住み続けたい …主観的要素が大きい

## 2. 居場所と役割が持てる地域

福祉サービスや行政サービスだけでは暮らしやすいとは言えない  
福祉サービスを利用していると地域とつながらなくていいの？

自助…自分ことを自分でする

互助…家族、友人、仲間等自発的な支え合いや助け合い  
ボランティア活動や自治会活動等

共助…制度化された相互扶助  
(医療、年金、介護保険、社会保険等)

公助…公的機関によって提供される援助

## 目的と手段

○つながりづくり

地域にある集いにはどんなものがあるの？

そこにはどんな人が参加してるかな

○サロンや食事会の価値を意味を「見える化」してみる

○参加者全員の出番や役割を考える

○社会的孤立を考える



### 3. 行政や社協・企業とタッグを組む（協働する）ことも必要

協働の合言葉は（長野県協働推進ビジョンより）

- ①「できない」と言わずに 協働で考えてみる
- ②「足りない」と言わずに 協働で補ってみる
- ③「出番がない」と言わずに 協働の場で活動してみる
- ④「担い手がない」と言わずに 協働でつくってみる
- ⑤「関係ない」と言わずに 協働の場で自らの力を発揮してみる

## 協働の5原則

#### 【原則1】 目的・目標の共有

協働する各主体が課題を共有した上で協働の取組の目的を協議し、確認します  
また、いつまでにどれだけの成果を上げるのかという目標を互いに共有します

#### 【原則2】 各主体の特性・強みの相互理解と尊重

協働を実施するに当たっての基本は、互いの強みや弱みを理解し合い、特性を尊重して、  
効果が存分に発揮されるようにすることです

これにより、各主体が単独ではできなかったことが可能になります

この点は、協働において対等な関係の構築を図る上でとても重要です

#### 【原則3】 役割の明確化と共有

各主体の特性・強みに基づき、協働する各主体の役割を明確にし、互いに共有します

#### 【原則4】 過程の共有

企画、実施、評価及び改善の各段階において各主体が協議する機会を設け、全過程を共有し  
て協働を進めることを心がけます

#### 【原則5】 評価の実施と公開、改善

目標の達成状況、協働の効果や協働の手順の妥当性等について評価し、必要な改善を行い  
ながら、よりよい協働につなげます

また、協働の事業や取組は、透明性が求められます

評価結果を含め、全過程を公開することが原則です

## 4.まずは一歩踏み出そう

地域ニーズとは…望ましい暮らしに必要なもの  
困りごとやニーズをどのように知ったか  
仲間づくりをどう進めるか、進めたか  
対象者をどのように決めましたか  
運営費はどう拮出しますか（しましたか）  
そのためにどんな活動が考えられますか  
活動をしてみてよかった点、改善した方がよい点  
活動を継続していくためにやっていきたいこと

## 5.最後に

学びを場を大切にしよう

地域課題について、学んだり考えたりする場をどうする  
だいたい地域の方は肌感覚分かっているが・・・

提供者と利用者          生活者としての役割  
支え手側と受け手側に分かれるのではなく、  
地域のあらゆる住民が役割を持ち支え合いながら自分らしく  
活躍できる地域コミュニティ

助けられ上手は、助け上手

---

---

座光寺地区 健康福祉委員会

---

---

あなたも私も暮らしやすい  
 ～自然・歴史・文化・ものづくりが煌めく新舞台～

# 「麻績の里 座光寺」

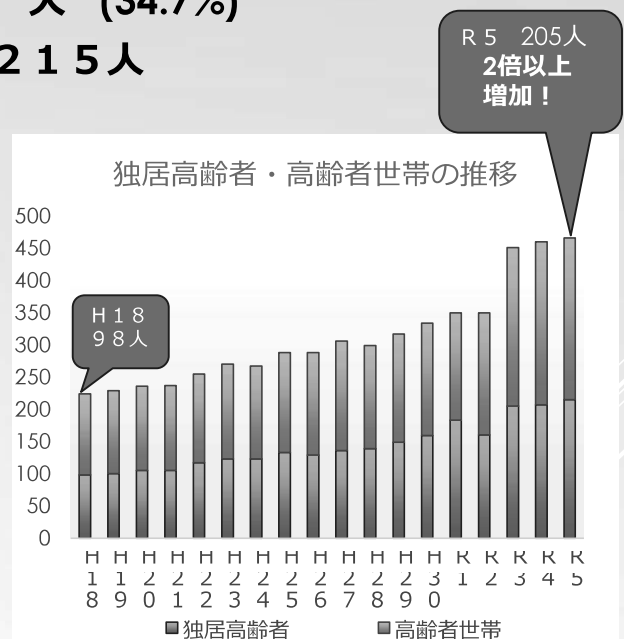
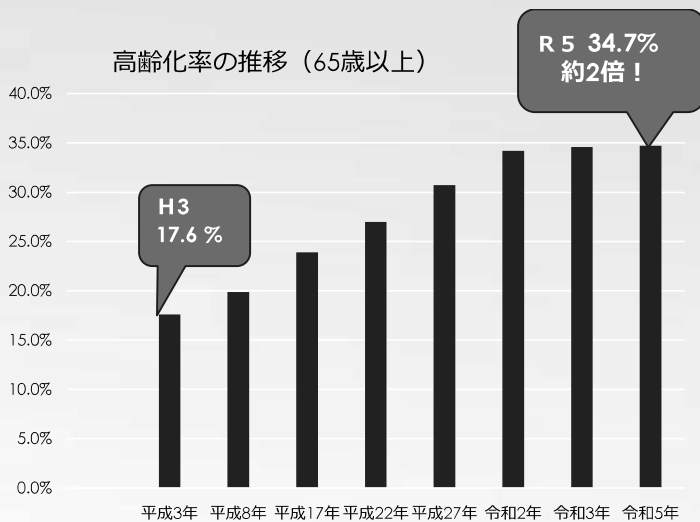


座光寺地域自治会 健康福祉委員会

## 【 座光寺地域の概要 】

R 5.3.31 現在

- ・ 総人口： 4, 1 6 6 人
- ・ 65歳以上の高齢者： 1, 4 4 7 人 (34.7%)
- ・ 独居高齢者： 2 1 5 人



## 第2次 座光寺地域基本構想・基本計画

- ①心通い合うコミュニティを創造するまちづくり
- ②一人ひとりが地域に学び、生涯成長できるまちづくり
- ③自然と歴史・文化を活かし育むまちづくり

### ④健やかに安心して暮らせる住みよいまちづくり

- ⑤地域特性を活かした元気な産業のまちづくり
- ⑥人と自然に優しいインフラ整備

(1) 共助の心で地域福祉の向上に努めます。

①一人暮らしや身寄りのない高齢者が安心して生活できる交流の場を設け、地区住民で見守り活動を進めます。 → **座光寺地域通いの場の検討**

②支援を必要としている人や福祉サービスに関するニーズの把握に努め、必要な支援策について調査・検討します。 → **ごみ出し支援 (R5年度~)**



月2回以上、ご近所の方のごみ出しをお手伝いする方を応援するため、健康福祉委員会から燃やすごみ袋をプレゼントします!!

## 座光寺地区通いの場の状況と課題

### ●いきいき広場・ウェルビクス

- ・参加者減少のため、終了する会場があり、高齢者の活動の場所が減っている。  
現在5会場→3会場 (R6. 4月~)
- ・送迎がないため、自身で来ることができない高齢者は参加する場所が限られる。

### ●ふれあいサロン

- ・運営者の高齢化が問題になっている。
- ・活動場所が限定的 (4会場) であり、参加者が限られる。

高齢化が進み、介護予防のための活動が重要となる一方で、運営者や参加者の高齢化により事業の継続が難しくなっている。  
継続的な事業展開のための運営体制と参加者の移動手段の確保が必要となっ

通いの場の再構築が必要

令和6年度からフレイル予防教室をスタートする。

# 座光寺地区通いの場立ち上げに向けた取り組み

## ①地区への説明

- ・ R 5 年 3 月 自治会長、旧健康福祉三役、自治振興センター所長に説明
- ・ R 5 年 4 月 5 日 新健康福祉委員会役員に説明
- ・ R 5 年 4 月 1 9 日 自治委員会三役会での説明
- ・ R 5 年 4 月 2 0 日 健康福祉委員会での説明

## ②取り組み検討会議

- ・ R 5 年 5 月 1 9 日 第 1 回座光寺地区通いの場についての検討会議  
開催場所、規模、開催頻度、募集方法、運営体制など決定
- ・ R 5 年 7 月 1 1 日 第 2 回座光寺地区通いの場についての検討会議  
組合回覧チラシの内容検討、上郷地区の見学についてなど
- ・ R 5 年 11 月 2 4 日 第 3 回座光寺地区通いの場についての検討会議

## ③他地区の見学

- |                   |                 |         |
|-------------------|-----------------|---------|
| ・ R 5 . 8 月 1 0 日 | 上郷地区「たんぽぽの会」の見学 | 参加者 8 名 |
| 2 4 日             | ”               | 参加者 7 名 |

## 上郷地区「たんぽぽの会」の見学

R 5 . 8 月 1 0 日、2 4 日



### 参加者の感想

- ・ 体操内容が充実している。
- ・ とてもよい事業だと感じた。
- ・ 体操に疲れた。体に効く。
- ・ 座光寺では茶話会をしたい。
- ・ 自分にとっても運動ができる機会。

## 最後に

- ・将来にわたり「通いの場」事業は健康福祉事業の柱となります。それにあたってはまず、サポーターさんのご協力が必要です。



ご清聴ありがとうございました。